

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	プロジェクト1 (Project1)		
ナンバリングコード	L11201	大分類 / 難易度 科目分野	建築学科 専門科目 / 基礎レベル 研究・資格・インターンシップ
単位数	2	配当学年 / 開講期	1年 / 通年
必修・選択区分	全コース選択必修		
授業コード	L120101	クラス名	佐賀関・臼杵班、大野町・鶴崎班
担当教員名	池畑 義人、島岡 成治、近藤 正一、吉村 充功、高見 大介、瀧永 康仁、池見 洋明、中西 章敦、木村 智、江越 充		
履修上の注意、履修条件	<p>・本実習は佐賀関・臼杵班と豊後大野市大野町・鶴崎班に分かれて実施します。オリエンテーションを行いますので、受講生はいずれか一つの地域を選択してください。ただし、地域の受け入れ上限数がありますので、希望人数が上限を超える場合は、調整を行います。</p> <p>・地域実践として、週末、平日を利用して複数回の日帰り及び合宿研修を予定しています。現地研修は本授業の根幹を占めるため、公欠を含めて欠席は認められません(不合格)。</p> <p>・現地実践の際は、食事代・宿泊代・材料代を実費で徴収または負担してもらいます。合計で最大5千円ほどかかる見込みです。班による合計額の違いはありません。</p> <p>・地域実践として、週末を利用して複数回の日帰り及び合宿研修を予定しています。現地研修は本授業の根幹を占めるため、公欠を含めて欠席は認められません(不合格)。</p> <p>・新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない現状では、地域活動日が確定できないため、後期に後ろ倒しになる可能性、プログラムが変更になる可能性があります。</p> <p>・フィールドワークでは団体行動が基本です。教員・現地指導員の指示に必ず従ってください。</p> <p>地域の皆さんは、この実習にあたって大変な負担を負っています。皆さんのために、いろいろして下さる地域の皆さんに感謝しながら受講してください。</p>		
教科書	特になし		
参考文献及び指定図書	特になし		
関連科目	プロジェクト2(地域づくり実践応用)、プロジェクト3(環境・地域創造演習)、地域再生論		

○授業の目的・概要等		
授業の目的	地方の今後のあり方を考えた場合、地域の独自性や特徴を活かした地域づくり・まちづくり、地域にあった建築物の設計・施工、歴史遺産や環境の保全・再生が重要となります。本実習では、大分県の基幹産業である農林水産業を中心とした地域や過疎高齢化が進む地域、伝統文化を守る祭の実態を現場見学・体験とワークショップを通じて肌で感じ、地域が直面する課題や問題点を正しく認識することで、建築学において必要になる地域づくりや地域再生のための計画立案に向けての基礎知識を習得すること、そのための感性を養うことを目的とします。	
授業の概要	大分県内各地の農林水産業の現場や過疎高齢地域を見学・研修し、実際に農業、林業、水産業体験やその集落の営みを観察するフィールドワーク、ボランティア活動を実践的に実施します。また、大分県の文化である竹を活かした灯籠を使用した地域の祭に参加します。見学・体験・実践した地域及びフィールドから学び取ったこと、感じたことをまとめ、地域での生活・文化と生業の現状について理解を深めるグループディスカッションを行います。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習等形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」
	(3) アクティブ・ラーニング	ボランティア 他
地域志向科目	カテゴリー II : 地域での体験交流活動を教育内容に含む科目	
実務経験のある教員による授業科目	中西章敦(大分県土木建築部における大分県の道路・河川・地域づくりに関する行政)公務員としての現場経験から県内での地域課題への取り組み方を教授します。 江越充(照明デザイン事務所勤務)照明デザイナーとしての実務経験から祭り活動における竹灯籠の製作について教授します。	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	①環境や地域の問題に積極的に関わることができる。		30点	
【知識・理解】	②大分県内における1次産業(農林水産業)や過疎高齢地の現状と位置づけを実体験を通じて理解することができる。 ③中山間地域と都市部(大分都市圏)の関係性、森里海のつながりを理解することができる。 ④コミュニティの重要性について理解できる。 ⑤林業体験、祭り活動を通じて、建築材料の生産現場を理解することができる。		20点	
【技能・表現・コミュニケーション】	⑥集団で行動でき、自分の役割を果たすことができる。 ⑦地域の皆さんに話を聴いて、質問をすることができる。		30点	
【思考・判断・創造】	⑧新しい地域のあり方、地方創生について考えることができる。		10点	10点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流活動(佐賀関、大野町)で75点、祭り活動(臼杵、鶴崎)で25点の合計100点満点で評価します。 ・評価基準については、ルーブリック表を配布します。 ・地域交流活動では、毎現地研修時のルーブリックの自己評価、事前レポート、事後のふり振り返りレポート等を評価します。また、事前レポートに関しては口頭試問も実施されます。事後研修において、学修内容についての発表を行います。以上について、到達目標の観点から総合的に判断して評価を行います。 ・祭り活動では製作活動への取り組み状況、レポート等を総合的に評価します。

○その他
<p>おおよその日程については、第1回の授業時に連絡します。ただし、新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない現状では、地域活動日が確定できないため、後期に後ろ倒しになったり、日帰り研修と合宿研修の順番を入れ替えたりする可能性があります。また、大幅なプログラム変更を余儀なくされることも考えられますので、その点を承知しておいて下さい。必要に応じて、情報提供を行いますので、履修者は担当教員からのメールを受信できるように設定しておいて下さい(@nbn.ac.jpからのメール受信許可設定)。</p> <p>建築資料室前の掲示板等も確認して下さい。</p>

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名：プロジェクト1 (Project1) 担当教員：池畑 義人、島岡 成治、近藤 正一、吉村 充功、高見 大介、瀧永 康仁、池見 洋明、中西 章敦、木村 智、江越 充	授業コード:L120101
学修内容		
1. ガイダンス 授業内容・スケジュールの説明、受講条件、クラス分けなどについて説明します。		
予習：シラバスを熟読し、対象地域について調べ学習を実施して下さい。		(約1.0h)
復習：対象地域について調べ学習を実施し、地域の状況についてまとめて下さい。		(約2.0h)
2. 第1回事前研修 第1回現地研修に先立って、研修の意義を理解するワークショップを実施します。また、事前レポートを課し、知識の整理を行うとともに、目標設定を行います。		
予習：		
復習：課題を課します。課題を完成させるとともに、面接指導を受けて下さい。		(約2.0h)
3. 第1回研修【地域環境維持活動と交流会】-1 これから、3回の授業では豊後大野市大野町「ふるさと体験村」及び周辺地域／大分市佐賀関半島周辺地域に分かれて、地域環境維持活動を行います。この時間は、グループに分かれて諸注意を受け、現地の方のお話を聴きます。		
予習：		
復習：		
4. 第1回研修【地域環境維持活動と交流会】-2 現地の田畑や山林等で作業を体験します。作業の内容は、天候などによって異なりますが、大野町班は主にイノシシなどの害獣から田畑を守るための作業や草刈り、樹木の間伐など、佐賀関班は観光交流人口を拡大する環境整備のための草刈りや作業等を行います。		
予習：		
復習：		
5. 第1回研修【地域環境維持活動と交流会】-3 作業の残りを実施するとともに、終了後は作業をふり返りながら、反省点などを話し合います。		
予習：		
復習：当日の活動のふり返りを行って下さい。		(約1.0h)
6. 第1回事後研修 第1回の研修で得たことをグループディスカッションでまとめます。また、次回の研修に向けた改善点をまとめます。レポートを課し、振り返りを行います。		
予習：		
復習：事後レポートを完成させて下さい。		(約2.0h)
7. 第2回事前研修-1 第2回研修は鶴崎清正公23夜祭での参道を彩る竹灯籠等の展示、うすき竹宵での竹灯籠等の展示を2グループに分かれて実施します。第2回研修に先立ち、知識の整理を行うとともに、研修での目標設定、出展準備を行います。		
※臼杵班の取り組みは後期になります。第7回～第13回の授業内容は後半に行います。		
予習：		
復習：竹灯籠の製作を行って下さい。		(約2.0h)
8. 第2回事前研修-2 前回到続き、竹灯籠の出展準備を行います。		
予習：		
復習：竹灯籠の製作を行って下さい。		(約2.0h)

○授業計画	科目名：プロジェクト1 (Project1) 担当教員：池畑 義人、島岡 成治、近藤 正一、吉村 充功、高見 大介、瀧永 康仁、池見 洋明、中西 章敦、木村 智、江越 充	授業コード:L120101
学修内容		
9. 第2回事前研修-3 前回到続き、竹灯籠の出展準備を行います。		
予習：竹灯籠の製作を行って下さい。		(約2.0h)
復習：		
10. 第2回研修【地域の祭での竹灯籠等出展活動】-1 鶴崎清正公23夜祭での参道を彩る竹灯籠等の展示、うすき竹宵での竹灯籠等の展示を2グループに分かれて現地で行います。		
予習：今回の活動の目標設定を行って下さい。		(約1.0h)
復習：		
11. 第2回研修【地域活動成果発表と交流会】-2 引き続き現地で行います。		
予習：		
復習：		
12. 第2回研修【地域活動成果発表と交流会】-3 引き続き現地で行います。		
予習：		
復習：当日の活動のふり返りを行って下さい。		(約1.0h)
13. 第2回事後研修 第2回の研修で得たことをグループディスカッションでまとめます。また、レポートを課し、振り返りを行います。		
予習：		
復習：事後レポートを完成させて下さい。		(約2.0h)
14. 第3回事前研修 第3回の現地研修からは、再び豊後大野市大野町「ふるさと体験村」及び周辺地域／大分市佐賀関半島周辺地域に分かれて、地域環境維持活動を行います。次回の研修に先立って、事前レポートを元に、知識の整理を行い、研修での目標設定を行います。		
予習：		
復習：課題を課します。課題を完成させるとともに、面接指導を受けて下さい。		(約2.0h)
15. 第3回研修【地域環境維持活動と交流会(1泊2日)】-1 これから10回の授業では、第1回研修と同じ現地においてチームに分かれ、農業・林業体験や観光交流人口拡大のための地域環境維持活動研修等のフィールドワーク、ボランティア活動及び地域の方との交流会を1泊2日を実施します。宿泊形式をとることで、集団生活を通じたこころの力や社会人基礎力を育成するとともに、地域の良さや課題を実体験します。この時間は、諸注意を聞くとともに、自分の設定した目標を再確認します。		
予習：		
復習：		
16. 第3回研修【地域環境維持活動と交流会(1泊2日)】-2 現地作業を通じて、役割分担やチームビルディングについて再確認します。		
予習：		
復習：		

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名：プロジェクト1 (Project1) 担当教員：池畑 義人、島岡 成治、近藤 正一、吉村 充功、高見 大介、瀧永 康仁、池見 洋明、中西 章敦、木村 智、江越 充	授業コード:L120101
学修内容		
17. 第3回研修【地域環境維持活動と交流会(1泊2日)】-3 現地指導者の指導のもと、グループに分かれて地域環境維持活動(草刈りや農業体験、間伐等)を行い、地域の生活の現場を理解します。		
予習: 復習:		
18. 第3回研修【地域環境維持活動と交流会(1泊2日)】-4 引き続き現地活動を実施します。		
予習: 復習:		
19. 第3回研修【地域環境維持活動と交流会(1泊2日)】-5 受講者全員で食事の準備をして、役割分担の重要性を理解するとともに、交流をします。地域の食材を使用し、地産地消の意義を理解します。		
予習: 復習:		
20. 第3回研修【地域環境維持活動と交流会(1泊2日)】-6 現地の人から地域の昔の様子や現在置かれている状況について講演を受けます。また、地域の方々との交流会を企画、実施します。佐賀県では地域の子どもたちとの交流会を企画、実施します。		
予習: 復習: 当日の活動のふり返りをもとに翌日に向けた目標の整理を行って下さい。(約1.0h)		
21. 第3回研修【地域環境維持活動と交流会(1泊2日)】-7 宿泊研修2日目の授業になります。地域の生活を体験するため周辺を散策するとともに、朝食づくりでチームの役割分担を再確認します。		
予習: 復習:		
22. 第3回研修【地域環境維持活動と交流会(1泊2日)】-8 前日とは異なる作業や地域環境維持活動を体験し、更に幅広い知識を習得します。		
予習: 復習:		
23. 第3回研修【地域環境維持活動と交流会(1泊2日)】-9 引き続き地域環境維持活動等を体験し、知識とスキルの定着を図ります。		
予習: 復習:		
24. 第3回研修【地域環境維持活動と交流会(1泊2日)】-10 これまでの2日間の実習で学んだことをふり返し、地域の方々に感謝の気持ちを伝えます。		
予習: 復習: 合宿研修の活動のふり返しを行って下さい。(約2.0h)		

○授業計画	科目名：プロジェクト1 (Project1) 担当教員：池畑 義人、島岡 成治、近藤 正一、吉村 充功、高見 大介、瀧永 康仁、池見 洋明、中西 章敦、木村 智、江越 充	授業コード:L120101
学修内容		
25. 第3回事後研修 第3回の研修で得たことをグループディスカッションでまとめます。また、次回の研修に向けた改善点をまとめます。また、レポートを課し、振り返りを行います。		
予習: 復習: 事後レポートを完成させて下さい。(約2.0h)		
26. 第4回事前研修 第4回の現地研修に先立って研修での目標設定を行います。また、レポートを課し、知識の整理を行います。		
予習: 復習: 課題を課します。課題を完成させるとともに、面接指導を受けて下さい。(約2.0h)		
27. 第4回研修【地域環境維持活動と交流会】-1 これから3回の授業では、第1、3回研修と同じ現地においてチームに分かれ、異なる季節の実習を行います。この時間は、グループに分かれて諸注意を受け、現地の方等のお話を聴きます。		
予習: 復習:		
28. 第4回研修【地域環境維持活動と交流会】-2 現地の田畑等で作業を体験します。作業の内容は、天候などによって異なりますが、主に収穫体験や出荷作業の準備／観光交流人口拡大のための現地作業などを行います。		
予習: 復習:		
29. 第4回研修【地域環境維持活動と交流会】-3 作業の残りを実施するとともに、終了後は作業をふり返ししながら、反省点などを話し合います。		
予習: 復習: 当日の活動のふり返しを行って下さい。(約1.0h)		
30. 第4回事後研修と総括 事後レポートを作成し、第4回の研修で得たことをグループディスカッションでまとめます。また、本授業で得たことの整理を行い、本授業をまとめます。		
予習: 復習: レポートを完成させて下さい。(約2.0h)		
31.		
予習: 復習:		
32.		
予習: 復習:		